

高齢者の転倒予防

日 時： 平成 27 年 3 月 22 日（日）10：00～16：00（受付 9：30）

講 師： 山田 実 氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科 准教授）

場 所： 小倉 KMM ビル 4F（北九州市小倉北区浅野二丁目 14 番 1 号）

※小倉駅裏口すぐ

会 費（非会員）： 4,000 円

講演要旨

高齢者の 3 人に 1 人は 1 年間に一回以上経験するとされる転倒は、主要な要介護要因の一つとしても挙げられている。近年、幾つかの転倒予防介入に関するシステマティックレビューによって、転倒予防介入の有用性について報告されている。しかしながら、これらの報告は 65 歳以上の高齢者をひとまとめに“高齢者”として扱っていることから、全ての高齢者に汎用化されるとは言い難く、有用になる機能レベルの高齢者もいれば、そうでない機能レベルの高齢者も含まれてしまう。機能レベル別の転倒リスク要因を検証すると、比較的機能レベルが高い高齢者では二重課題能力の低下が、逆に比較的機能レベルが低い高齢者では下肢筋力の低下が転倒と関係していた。さらに、このような機能レベル別の要因に応じた介入を行うことで、必要となる機能を適切に向上させ、転倒予防に有用となることも示唆されている。しかし、現状では十分に科学的検証がなされているとは言い難く、テーラード型の転倒予防の確立に向けて、今後さらなる検証が求められている。

本講演では、“サルコペニア”、“二重課題”、“ポピュレーション介入”などをキーワードにテーラード型の転倒予防について解説したい。

参加希望の方は、3 月 15 日（日）までに下記宛にメールでお申し込みください。

※席に限りがありますので、満席になり次第申し込み終了とさせていただきます。ご了承ください。

非会員の方は、下記アドレスまで、「高齢者の転倒予防勉強会参加申し込み」とタイトル明記の上、①氏名 ②所属 ③職種 ④連絡先（アドレス）を記載してご連絡ください。

長城 晃一（北九州リハビリテーション学院） E-mail: nagaki@tohaya.jp